



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 高圧ガス工業株式会社

コード番号 4097 URL <http://www.koatsugas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹内 弘幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 大北 隆行

TEL 06-7711-2572

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	58,238	2.9	3,128	△9.2	3,648	△5.5	2,220	8.8
26年3月期第3四半期	56,572	△0.4	3,448	△1.2	3,862	△0.4	2,039	△5.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,610百万円 (26.9%) 26年3月期第3四半期 2,844百万円 (31.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	40.20	—
26年3月期第3四半期	37.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	75,031	45,729	59.8	812.54
26年3月期	72,136	42,874	58.3	761.64

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 44,873百万円 26年3月期 42,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.0	4,800	2.6	5,300	1.9	3,000	0.9	53.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	55,577,526 株	26年3月期	55,577,526 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	351,689 株	26年3月期	343,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	55,229,595 株	26年3月期3Q	54,934,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和等により緩やかな回復基調にあるものの、消費税の増税に伴う駆け込み需要の反動や新興国の景気の減速、原材料等の価格の上昇など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は582億38百万円（前年同期比2.9%増加）、営業利益は31億28百万円（前年同期比9.2%減少）、経常利益は36億48百万円（前年同期比5.5%減少）、四半期純利益は22億20百万円（前年同期比8.8%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ガス事業

主力製品の『溶解アセチレン』は、造船業界向け及び建設、橋梁など公共工事向けに一部の需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、LPガス等の石油系ガスは需要先の減少及び輸入価格の下落に伴い減少しましたが、窒素、アルゴン、炭酸ガスが新規需要先の獲得及び電機、化学、半導体向けに需要が回復し、また、酸素が建設、鉄鋼向けに一部の需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資や工事需要の回復に伴い売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火装置用容器が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は438億50百万円（前年同期比5.2%増加）、営業利益は32億7百万円（前年同期比11.8%増加）となりました。

#### ② 化成品事業

『接着剤』は、木工用ペガールが海外輸出向けに需要を伸ばし、土木、建築用、粘着剤が建材向けを中心に減少しましたが、瞬間接着剤シアノンが、海外向けに円安の影響や、高機能品の市場開拓により増加し、売上高は前年同期並みとなりました。

『塗料』は、遮熱塗料、エアゾール製品の販売が増加したものの、消費税の駆け込み需要の影響や、天候不順による工事の減少に伴い建築用塗料が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は135億25百万円（前年同期比1.8%減少）、営業利益は6億72百万円（前年同期比38.9%減少）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業は、鉄道向けにLSIカードの需要は増加したものの、海外向け光学機器の需要が大幅に減少し、売上高は前年同期を下回り、当第3四半期連結累計期間の売上高は8億62百万円（前年同期比23.9%減少）、営業利益は85百万円（前年同期比62.8%減少）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28億94百万円増加して750億31百万円となりました。流動資産は、売上債権及び繰延税金資産が減少したものの、現金及び預金、棚卸資産が増加し、前連結会計年度末に比べ3億42百万円増加し、427億25百万円となりました。固定資産は、有形固定資産及び投資有価証券の評価額の増加により前連結会計年度末に比べ25億52百万円増加し、323億5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、賞与引当金が減少したものの、仕入債務が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ39百万円増加して293億1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ28億55百万円増加して457億29百万円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直した結果、退職給付見込額の期間帰属方法については期間定額基準を継続適用し、割引率の決定方法については、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しています。

なお、当該変更による損益等への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,505	14,032
受取手形及び売掛金	23,656	23,038
電子記録債権	648	887
商品及び製品	2,317	2,527
仕掛品	382	450
原材料及び貯蔵品	1,172	1,089
繰延税金資産	711	508
その他	168	348
貸倒引当金	△180	△158
流動資産合計	42,382	42,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,501	5,517
機械装置及び運搬具（純額）	2,335	2,548
土地	12,527	12,519
建設仮勘定	361	280
その他（純額）	869	901
有形固定資産合計	21,595	21,767
無形固定資産		
のれん	56	35
その他	177	390
無形固定資産合計	234	425
投資その他の資産		
投資有価証券	7,182	9,393
繰延税金資産	38	18
その他	783	774
貸倒引当金	△80	△73
投資その他の資産合計	7,924	10,112
固定資産合計	29,753	32,305
資産合計	72,136	75,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,243	11,692
電子記録債務	4,510	5,805
短期借入金	2,546	2,536
1年内返済予定の長期借入金	123	133
未払法人税等	1,248	240
賞与引当金	1,086	564
その他	2,675	2,718
流動負債合計	24,434	23,692
固定負債		
長期借入金	3,140	3,135
繰延税金負債	552	1,260
退職給付に係る負債	195	271
役員退職慰労引当金	52	42
その他	886	900
固定負債合計	4,827	5,609
負債合計	29,262	29,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	35,251	36,738
自己株式	△181	△185
株主資本合計	40,731	42,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,610	2,959
為替換算調整勘定	-	△28
退職給付に係る調整累計額	△273	△272
その他の包括利益累計額合計	1,336	2,659
少数株主持分	805	856
純資産合計	42,874	45,729
負債純資産合計	72,136	75,031

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	56,572	58,238
売上原価	41,131	42,591
売上総利益	15,441	15,647
販売費及び一般管理費	11,993	12,519
営業利益	3,448	3,128
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	129	137
受取手数料	99	100
負ののれん償却額	0	-
その他	331	416
営業外収益合計	564	656
営業外費用		
支払利息	53	46
その他	95	90
営業外費用合計	149	136
経常利益	3,862	3,648
特別利益		
負ののれん発生益	-	6
特別利益合計	-	6
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	27
ゴルフ会員権評価損	8	-
その他	-	0
特別損失合計	8	27
税金等調整前四半期純利益	3,853	3,626
法人税、住民税及び事業税	1,245	1,198
法人税等調整額	381	162
法人税等合計	1,626	1,361
少数株主損益調整前四半期純利益	2,227	2,265
少数株主利益	187	45
四半期純利益	2,039	2,220



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,227	2,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	617	1,371
為替換算調整勘定	-	△28
退職給付に係る調整額	-	1
その他の包括利益合計	617	1,344
四半期包括利益	2,844	3,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,648	3,541
少数株主に係る四半期包括利益	196	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,653	13,785	1,134	56,572	—	56,572
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,653	13,785	1,134	56,572	—	56,572
セグメント利益	2,868	1,102	228	4,199	△751	3,448

(注) 1 セグメント利益の調整額△751百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,850	13,525	862	58,238	—	58,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	43,850	13,525	862	58,238	—	58,238
セグメント利益	3,207	672	85	3,965	△837	3,128

(注) 1 セグメント利益の調整額△837百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。